

情報ピックアップ

十勝人チャレンジ支援事業

問い合わせ 産業連携室 (市庁舎7階、☎65・4163)



フードバレーとかち推進協議会では、十勝管内在住の20〜40代で、農林漁業または商工業などの産業で働いている人を対象として、地域の産業発展に貢献する人材を育てるため、「十勝人チャレンジ支援事業」を行っています。

この事業は、新たなチャレンジに取り組む事業者の、新規事業などに必要な国内外の先進事例の視察など調査研究を支援しています。

十勝産業界の最前線で活躍

平成25年度から28年度までの4年間で、27件31人が採択を受け、農業や食のほか、観光、デザイン、スポーツ、教育など、さまざまな分野で世界各地の先進地に赴き、調査研究を行いました。

事業採択者は調査研究や知見を生かして、新商品の開発や新作物の栽培に挑戦したり、観光客の誘致につなげたりなど、十勝の産業界の最前線で成果を上げています。また、事業採択者同士での製品開発やイベントの開催など、共同事業に発展する例も出ています。

知見を生かして地域に還元

活動は個々の事業にとどまらず、中学校の特別授業に参加し、地域のキャリア教育への貢献を図るなど、地域還元への取り組みも活発に行われています。

また、調査研究を基に意欲的に取り組む事業を「十勝人の集い」として周知し、地域への波及を進めています。

十勝産小麦で作ったパンの普及を図る

平成26年度 事業採択者 満寿屋商店 天方 慎治さん

事業を活用して、スウェーデンでは真空冷却器メーカー、フランス・ドイツでは機器を導入しているベーカリーを視察し、パンの真空冷却技術を学びました。



ドイツ製ペレット式オープンの前で

パンを焼成や半焼成の状態ですべて真空冷却することで、冷凍保管後に再焼成しても本来の食感を味わうことができ、品質を保持したまま製造の効率化や流通拡大が期待できます。

調査を踏まえ、十勝管内の加工場に真空冷却機械を導入し、昨年11月にオープンした東京本店にもこの技術を活用しています。今後の目標は東京五輪で「十勝パン」を提供することです。

オビヒロ カメラレポ Obihiro Camera Report



触って聞いて音楽に親しむ

日頃接する機会の少ないオーケストラの生演奏と、いろいろな楽器に触れることで音楽の楽しさを知ってもらおうと、毎年この時期に行われる「親と子のわくわく音楽会」。今年は約1200人の子どもと保護者が集まり、なじみのある楽曲を楽しみました。

開演前の約1時間、大ホールホワイエでは、バイオリンやコントラバス、ティンパニなど、オーケストラで使われる楽器十数種類に触れられるコーナーが設けられ、子どもたちは帯広交響楽団と音更高校管弦楽局1、2年生の皆さんから、楽器の持ち方や音の出し方を優しく教わっていました。(1月29日、市民文化ホール)



赤ちゃんも一緒に楽しめます



第54回おびひろ氷まつり

おびひろ氷まつりを今年も4会場で開催しました。メイン会場の緑ヶ丘公園では、巨大滑り台が多くのお家族連れでにぎわい、屋外ステージでは地元学生による「氷の文化祭」やキャラクターショーなど、多彩なイベントが繰り広げられました。

今年は3夜連続で花火が打ち上げられ、冬の夜空を彩る美しい花火に、大勢の観客から拍手と歓声が上がっていました。(2月3日〜5日、緑ヶ丘公園、広小路、夢の北広場、帯広競馬場)

高齢者ドライビング体験会



「運転に自信はあるが、今の自分の技能を客観的に知りたい」「運転技能の衰えを感じているからチェックしたい」などの理由で、65歳以上の市民29人が

高齢者ドライビング体験会に参加しました。

わだちやアイスバーンなど冬の悪路を再現した自動車学校のコースを走行して指導員のアドバイスを受けたほか、運転シミュレーターを使った反応の速さと正確さの診断や警察による講習会を行いました。(1月30日、帯広第一自動車学校)

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ (毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション (FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ (FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問 広報広聴課 (市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp)

広告